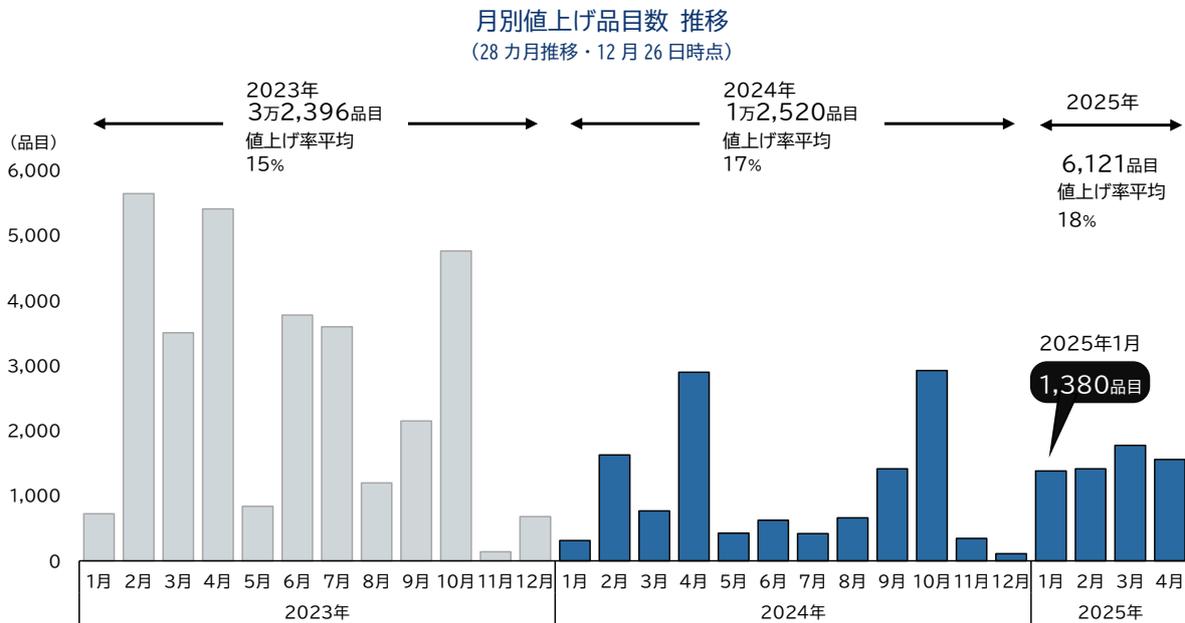


定期調査:「食品主要 195 社」価格改定動向調査—2024 年通年/2025 年見通し

## 2025 年の値上げ、4 月までに 6 千品目 24 年比 6 割増ペース

### 今年の値上げ、1 万 2520 品目 前年比 6 割減少、抑制の 1 年

帝国データバンクは、2024 年通年の動向および 2025 年以降における食品の値上げ動向と展望・見通しについて、分析を行った。



【注】 調査時点の食品上場105社(2022年時点)のほか、全国展開を行う非上場食品90社を含めた主要195社の2022-25年価格改定計画。実施済みを含む。品目数は再値上げなど重複を含む

### 次回調査の公表予定

2025 年 2 月の発表は 2025 年 1 月 31 日 (金) 午前 9 時

### 調査結果 (要旨)

- 2024 年の値上げ動向：累計 1 万 2520 品目、23 年比 6 割減 「抑制」傾向強まる
- 2025 年の値上げ動向：4 月までに 6 千品目、24 年比 6 割増ペース 値上げラッシュ続く
- 2025 年の見通し：年間 1.5~2 万品目ペースを想定、24 年を上回る可能性

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部：tdb\_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## 2024 年の値上げ動向：累計 1 万 2520 品目、23 年比 6 割の減少 「抑制」傾向強まる

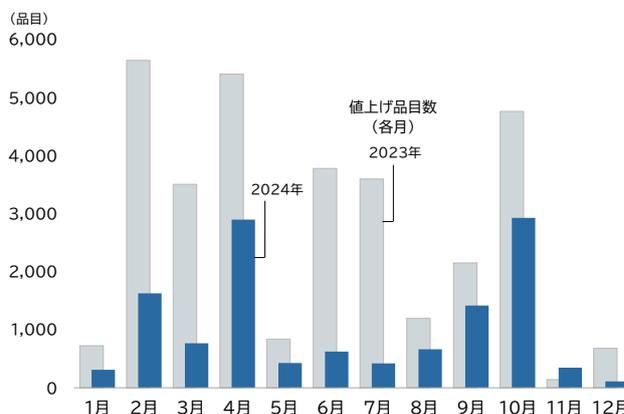
主要な食品メーカー195 社における、家庭用を中心とした 2024 年の飲食料品値上げは累計で 1 万 2520 品目を数えた。年初に想定した 1 万品目の水準を上回ったものの、バブル崩壊以後の過去 30 年間でも例を見ない記録的な値上げラッシュとなった 23 年の 3 万 2396 品目に比べて約 6 割減少した。22～23 年にかけて続いた、月間 2 千品目超の水準が常態化した「値上げラッシュ」は抑制された 1 年となった。

2024 年の値上げを月別にみると、年間で最初に 1 千品目を超えた 2 月（1626 品目）は、パスタソースなどパウチ食品のほか、トマトジュースなどトマト加工品で一斉値上げとなった。4 月（2897 品目）は、23 年 10 月以来 6 カ月ぶりに 2 千品目を超え、ハム・ソーセージなど加工食品で一斉値上げとなった。以降は月 1 千品目を下回る水準が続くなど値上げラッシュは「ピークアウト」の兆しもみられたものの、10 月には酒類・飲料を中心に年内最大となる 2924 品目で値上げとなったほか、11 月は 11 カ月ぶりに単月で前年同月を上回るなど、飲食料品における値上げペースが再び加速する兆しもみられた。

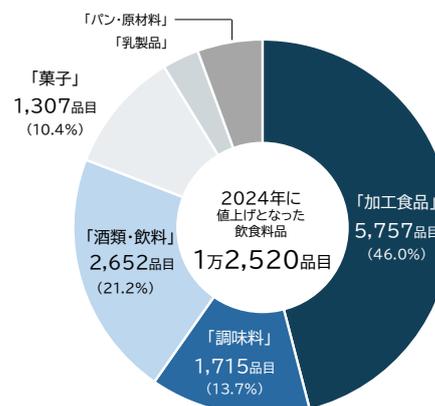
総じて、前年の急激な円安進行を決定打とした原材料コスト高のほか、電気・ガス代などのエネルギーコストの高騰は一服感がみられ、年間では 2022～23 年に比べて大幅に抑制された水準が続いた。また、物価上昇に賃上げペースが追いつかず、プライベートブランド (PB) 製品など安価な代替製品へのシフトや、値上げ後に購入点数が減少するといった消費行動、いわゆる「値上げ疲れ」を背景に、年初に多くみられた本体価格の引き上げから、年後半では内容量減による価格の「据え置き・維持」へのシフトが目立つようになるなど、本体価格への転嫁には限界感も強まった。人件費や包装・資材費など、原材料高以外の値上げ圧力が高まるなかでも積極的な値上げがしづらい状況が続き、総じて価格設定の判断が非常に難しい 1 年となった。

一方で、トマトのほかオリーブオイルやカカオ豆、海苔、オレンジ等では天候不順を要因とした不作により価格が高騰し、チョコレートなど菓子製品では断続的な値上げが続いたほか、オレンジジュースでは休売やサイズ・容量の制限が発生するなど、原材料高の影響を大きく受けたケースもみられた。

2023～24 年の食品値上げ 比較



食品分野別の値上げ品目数



## 2025 年の値上げ動向：4 月までに 6 千品目、24 年比 6 割増ペース 春先まで値上げラッシュ続く

2025 年 1 月から 4 月までに値上げが決定している飲食料品は、パンのほかビールなど酒類・飲料、冷凍食品など 6121 品目が判明した。このうち、25 年 1 月はパン類を中心に 1380 品目を数え、1 月としては調査を開始した 22 年以降で最多となった。また、23 年 7～10 月以来、約 1 年 3 カ月ぶりに 4 カ月連続で単月あたり 1 千品目を超えた。このほか、23 年 12 月時点で判明した翌年（24 年）の値上げ予定品目数が 3891 品目だったのに対し、25 年の値上げ品目数は約 6 割の増加となり、25 年春にかけて 24 年を上回る値上げラッシュが常態化する見通しとなる。

1 回当たりの値上げ率平均は 18% となり、2024 年（17%）と同等か、もしくはさらに上回る水準で推移する見通しとなった。加工食品や菓子類、酒類・飲料を中心に、20% を超える大幅な価格引き上げを行う食品が多いことも、値上げ率が高止まりした要因となっている。

2025 年 1-4 月間の値上げで最も多い食品分野は「加工食品」（2121 品目）で、全体の約 3 割を占めた。弁当向け冷凍食品類のほか、チルド麺、缶詰製品など多岐にわたり、24 年と同等のペースで推移している。次いで多いのが「酒類・飲料」（1834 品目）で、缶ビールのほか缶チューハイなど RTD 飲料、輸入ワイン・ウイスキーなど洋酒、レギュラーコーヒー製品などが中心となる。特にビール類では 25 年 4 月に大手 4 社で価格が引き上げられ、23 年 10 月以来 1 年 6 カ月ぶりの値上げラッシュとなる。「パン」（1227 品目）では、25 年 1 月に 1 千品目超が価格引き上げの対象となり、23 年 7 月以来 1 年 6 カ月ぶりの値上げラッシュとなる。

2025 年の値上げは、24 年のトレンドを引き継ぎ原材料などモノ由来の値上げが多くを占める一方で、物流費など「サービス」価格上昇の影響を受けた値上げで拡大傾向がみられる。25 年の値上げ要因のうち、最も多いものは「原材料高」（93.2%）となり、3 年連続で値上げ品目全体の 9 割を超えた。他方で、トラックドライバーの時間外労働規制などが要因となった輸送コストの上昇分を価格に反映する「物流費」由来の値上げが 78.4%、最低賃金の引き上げや定期昇給など賃上げによる影響を含む「人件費」由来の値上げが 43.9% を占め、いずれも 23 年以降で最高値となった。

値上げ要因の推移（品目数ベース）

	2025年	2024年	2023年
	1-4月	1-12月	1-12月
原材料高	93.2%	92.2%	96.2%
エネルギー	42.3%	60.6%	80.6%
包装・資材	59.1%	68.5%	60.6%
物流費	78.4%	68.1%	58.4%
円安 (為替の変動)	19.2%	28.1%	11.4%
人件費	43.9%	26.5%	9.1%

【注】値上げ要因には一部重複を含む

食品分野別の値上げ品目数

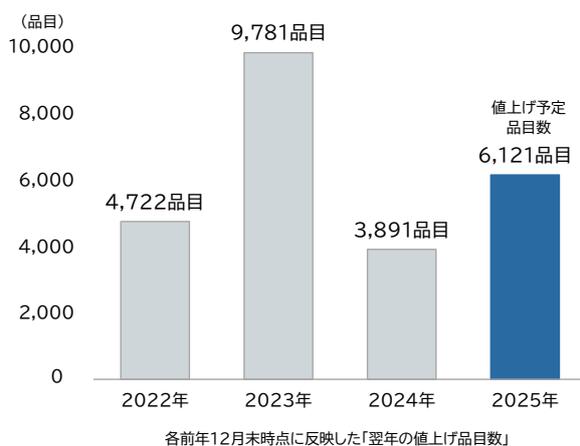
	2025年		2024年		2023年	2022年
	1-4月 品目数	値上げ率	うち1月 品目数	1-12月 品目数	1-12月	1-12月
加工食品	2,121	16%	58	5,757	11,838	9,468
調味料	383	17%	0	1,715	8,052	5,953
酒類・飲料	1,834	23%	0	2,652	6,175	5,063
菓子	449	19%	85	1,307	2,270	1,967
乳製品	88	13%	10	392	1,533	1,225
パン	1,227	5%	1227	108	1,663	1,494
原材料	19	3%	0	589	865	598
合計	6,121	18%	1,380	12,520	32,396	25,768

## 2025 年の見通し：年間 1.5～2 万品目ペースを想定、24 年を上回る可能性

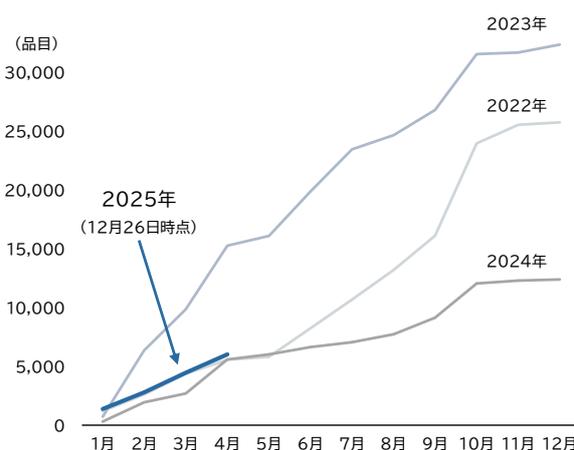
足元では、急激な円高が進行した年半ばまでのドル円相場が一転して円安傾向で推移し、輸入食材などを中心に値上がり圧力が高まりつつある。加えて、世界的な天候不順を背景にコーヒー豆やカカオ豆といった一部商品作物では値上がりに収束のめどが立たず、特にコーヒー製品やチョコレート菓子などでは年内に複数回の値上げが実施されるといったケースも発生した。原材料のほか、プラ容器など包装資材を含めたモノ由来の値上げに加え、物流費や人件費などサービス由来のコストでも値上がりが続いており、企業努力による製品価格引き下げや据え置きによる販売量の維持は収益面で限界に達しつつある。各種コスト高を背景に値上げマインドは再び高まりつつあり、少なくとも 25 年 4 月頃までは断続的な値上げラッシュが続く。特に、値上げタイミングが集中しやすい 2～4 月にかけて月当たり 2 千品目を超える値上げが見込まれ、今後の展開次第では月 3 千品目に達する大規模な値上げラッシュの発生も想定される。

2025 年 5 月以降については不透明な状況ながら、足元の円安傾向によって輸入品では再び調達費用の増加が想定される。また、物流費のほか、24 年内に実施した賃上げによる人件費増など原材料高以外の要因を背景に、粘着質な値上げトレンドの継続が見込まれる。25 年通年の値上げ品目数については、現状のペースが続いた場合 24 年を上回る年 1.5～2 万品目前後に到達する可能性がある。

各前年 12 月末時点の「翌年値上げ予定」品目数



各月実施ペースでの値上げ品目数



[注] 品目数および値上げは、各社発表に基づく。また、年内に複数回値上げを行った品目は、それぞれ別品目としてカウントした。値上げ率は発表時点における最大値を採用した。なお、価格据え置き・内容量減による「実質値上げ」も対象に含む

参考：月別の値上げ品目数推移（～2025 年 4 月）

年月	食品分野別							単位:品目	
	合計	加工食品	調味料	酒類・飲料	菓子	乳製品	パン	原材料	
2022年	25,768	9,468	5,953	5,063	1,967	1,225	1,494	598	
2023年	32,396	11,838	8,052	6,175	2,270	1,533	1,663	865	
2024年	12,520	5,757	1,715	2,652	1,307	392	108	589	
2025年	6,121	2,121	383	1,834	449	88	1,227	19	
2023年	1月	723	382	180	9	84	0	7	61
	2月	5,639	3,137	1,394	797	209	20	3	79
	3月	3,503	1,776	478	496	613	19	27	94
	4月	5,404	2,275	1,022	948	316	769	0	74
	5月	837	180	169	388	40	31	29	0
	6月	3,775	1,612	1,674	94	158	37	6	194
	7月	3,595	836	619	32	242	41	1,591	234
	8月	1,197	202	409	47	179	360	0	0
	9月	2,148	541	1,257	89	213	39	0	9
	10月	4,758	891	306	3,198	193	50	0	120
	11月	139	5	39	77	18	0	0	0
	12月	678	1	505	0	5	167	0	0
2024年	1月	310	96	64	21	1	6	0	122
	2月	1,626	643	545	166	130	56	0	86
	3月	767	444	66	73	149	35	0	0
	4月	2,897	2,087	369	315	126	0	0	0
	5月	427	97	0	261	3	0	0	66
	6月	623	329	30	37	138	80	0	9
	7月	418	82	4	199	75	4	40	14
	8月	661	319	56	60	143	2	29	52
	9月	1,414	757	193	135	191	99	39	0
	10月	2,924	686	301	1,362	237	100	0	238
	11月	344	126	80	23	103	10	0	2
	12月	109	91	7	0	11	0	0	0
2025年	1月	1,380	58	0	0	85	10	1,227	0
	2月	1,414	579	206	237	296	77	0	19
	3月	1,772	1,285	0	419	68	0	0	0
	4月	1,555	199	177	1,178	0	1	0	0
前年(同月)比									単位:%
2022年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2023年	25.7	25.0	35.3	22.0	15.4	25.1	11.3	44.6	
2024年	△ 61.4	△ 51.4	△ 78.7	△ 57.1	△ 42.4	△ 74.4	△ 93.5	△ 31.9	
2025年	△ 51.1	△ 63.2	△ 77.7	△ 30.8	△ 65.6	△ 77.6	1036.1	△ 96.8	
2023年	△ 39.2	-	△ 64.0	-	104.9	-	△ 98.9	1120.0	
	2月	297.1	152.4	1809.6	-	596.7	150.0	△ 40.0	29.5
	3月	99.0	87.9	△ 38.2	2154.5	20333.3	375.0	-	683.3
	4月	348.8	490.9	773.5	13442.9	58.8	88.9	-	△ 16.9
	5月	233.5	-	131.5	2325.0	△ 74.7	-	-	△ 100.0
	6月	56.1	76.9	95.1	△ 69.8	△ 43.4	117.6	-	351.2
	7月	47.2	50.1	4661.5	△ 94.5	47.6	1266.7	94.3	△ 22.0
	8月	△ 52.4	△ 90.0	770.2	30.6	△ 54.5	-	△ 100.0	-
	9月	△ 26.4	△ 52.5	22.0	140.5	△ 53.0	△ 82.7	-	△ 75.7
	10月	△ 39.5	△ 55.9	△ 83.4	△ 15.4	12.9	4.2	-	1400.0
	11月	△ 91.2	△ 98.1	△ 92.3	△ 70.7	△ 72.7	△ 100.0	-	△ 100.0
	12月	240.7	-	320.8	△ 100.0	△ 50.0	406.1	-	△ 100.0
2024年	1月	△ 57.1	△ 74.9	△ 64.4	133.3	△ 98.8	-	△ 100.0	100.0
	2月	△ 71.2	△ 79.5	△ 60.9	△ 79.2	△ 37.8	180.0	△ 100.0	8.9
	3月	△ 78.1	△ 75.0	△ 86.2	△ 85.3	△ 75.7	84.2	△ 100.0	△ 100.0
	4月	△ 46.4	△ 8.3	△ 63.9	△ 66.8	△ 60.1	△ 100.0	-	△ 100.0
	5月	△ 49.0	△ 46.1	△ 100.0	△ 32.7	△ 92.5	△ 100.0	△ 100.0	-
	6月	△ 83.5	△ 79.6	△ 98.2	△ 60.6	△ 12.7	116.2	△ 100.0	△ 95.4
	7月	△ 88.4	△ 90.2	△ 99.4	521.9	△ 69.0	△ 90.2	△ 97.5	△ 94.0
	8月	△ 44.8	57.9	△ 86.3	27.7	△ 20.1	△ 99.4	-	-
	9月	△ 34.2	39.9	△ 84.6	51.7	△ 10.3	153.8	-	△ 100.0
	10月	△ 38.5	△ 23.0	△ 1.6	△ 57.4	22.8	100.0	-	98.3
	11月	147.5	2420.0	105.1	△ 70.1	472.2	-	-	-
	12月	△ 83.9	9000.0	△ 98.6	-	120.0	△ 100.0	-	-
2025年	1月	345.2	△ 39.6	△ 100.0	△ 100.0	8400.0	66.7	-	△ 100.0
	2月	△ 13.0	△ 10.0	△ 62.2	42.8	127.7	37.5	-	△ 77.9
	3月	131.0	189.4	△ 100.0	474.0	△ 54.4	△ 100.0	-	-
	4月	△ 46.3	△ 90.5	△ 52.0	274.0	△ 100.0	-	-	-